

JVC

デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア (デジタルミュージックマシン PA-DA600 設定用)

型名 **PA-ZS600A**

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。
この「取扱説明書」は、本製品の操作方法を説明しています。
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご注意：

- このソフトウェアを使ってお客様ご自身で任意のメッセージや音声をデジタルミュージックマシン PA-DA600 でご利用いただくことができますが、第三者の著作物等をご利用になる場合には、著作権法等、その他法規にもとづいて、お客様の責任で権利者の許諾を得ていただく必要があります。

もくじ

はじめに

もくじ	2
こんなことができます	3
ソフトウェア使用許諾契約書	4

準備

動作環境	5
システム接続	5
アプリケーションソフトのインストール	6
USB ドライバーのインストール	6
PA-ZS600A のインストール	6
プロジェクトを作成する	7
アプリケーションの概要	8

メモリーカード作成

メモリーカード作成手順	9
本体の設定	10
① リレー名設定	10
② デバイス設定	10
③ 制御入力設定	12
④ 機能キー設定	13
パターンの設定	15
週間スケジュールの設定	17
年間スケジュールの設定	18
データ編集	19
CM プレイリストの編集	19
BGM プレイリストの編集	21
データの取り込み / 書き込み	23
CM ファイルの加工・編集	25
CM ファイルの登録	27
BGM ファイルの登録	28

その他の設定

オプションの設定	29
----------	----

外部制御

パソコンによる PA-DA600 本体の制御	31
------------------------	----

その他

プレイリストプレイヤーについて	34
こんなときは	35

こんなことができます

デジタルミュージックマシン設定ソフトウェア [PA-ZS600A] はデジタルミュージックマシン PA-DA600 (以下 PA-DA600) のシステム設定、パターン作成、スケジュール作成、CM プレイリスト、BGM プレイリストの編集および CM 音声ファイルの加工・編集を行うための支援アプリケーションです。また、パソコンから PA-DA600 本体の制御も可能です。

PA-DA600 本体に関する設定

PA-DA600 本体の各種設定項目をパソコン画面上から登録することが可能です。

スケジュール設定

1 日分のスケジュールであるパターンの設定、1 週間単位での週間スケジュール、特定の日に特別な動作をさせたい時に使用する年間スケジュールの設定が可能です。

CM プレイリストの編集

CM ファイルからメッセージおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することができます。

BGM プレイリストの編集

BGM ファイルからミュージックおよびプレイリストの編集ができ、本体に転送することができます。

CM ファイルの加工・編集

PA-DA600 本体で録音した JAV ファイル、パソコンで作成した Windows の標準的な WAV 形式の音声ファイル (以下 WAV ファイル) のサンプリング周波数やゲイン等の加工・編集ができます。

CM ファイルの PA-DA600 本体への登録

WAV ファイルを CM ファイルとして、PA-DA600 本体に登録ができます。(登録された CM ファイルは WAV 形式に準拠した音声ファイルですが、PA-DA600 および本ソフトに添付の CM プレイリストプレイヤーでのみ再生できるようにプロテクトがかかっています。そのため、登録された CM ファイルはその他の音楽プレイヤーソフトウェアで再生することはできません。)

BGM ファイルの PA-DA600 本体への登録

Windows Media オーディオファイル (以下 WMA ファイル) を BGM ファイルとして、PA-DA600 本体に登録ができます。(登録された BGM ファイルは WMA 形式に準拠した音声ファイルですが、PA-DA600 および本ソフトに添付の BGM プレイリストプレイヤーでのみ再生できるようにプロテクトがかかっています。そのため、登録された BGM ファイルはその他の音楽プレイヤーソフトウェアで再生することはできません。)

パソコンから PA-DA600 本体を制御する

パソコンから PA-DA600 本体の制御とエラーログの確認ができます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Microsoft、Windows および Windows Media は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

PA-ZS600Aをインストールする前に、必ずお読みください。

株式会社JVCケンウッド・公共産業システム（以下「弊社」といいます）は、お客様に提供されたデジタルミュージックマシン設定ソフトウェア [PA-ZS600A]（以下、「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

権利の許諾

1. お客様は、本契約の条項にしたがって本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。お客様は、お客様の業務に必要な範囲内において、本製品を設置するお客様の施設（店舗、本・支店や教育施設等）内のパソコンに搭載されたHDDその他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。
2. お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

制限事項

1. お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。
2. お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。
3. お客様には本ソフトを使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。
4. お客様は、お客様自らだけでなく、お客様の役員・従業員・教員または第三者にも上記(1)から(3)で禁止されている行為をさせてはなりません。

限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、結果的、付随的あるいは懲罰的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

契約事項

- * 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のハードウェアに最初にインストールされた日を以って発効し、次によって終了されない限り有効に存続するものとします。
- * お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し何らかの通知、催告を行うことなく直ちに本契約を終了させることができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときは、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のパソコンサーバー上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

輸出管理

お客様は、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を日本ならびにその他の関係国が出荷等を禁止ないし制限している国に出荷、移転または輸出しないことに同意します。

その他

1. 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。
2. 本契約のいずれかの規定が日本国の法律で無効とされた場合も、残りの規定は依然有効とします。
3. 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

動作環境

使用可能なパソコンの仕様

OS : Windows 7 Home Premium Service Pack 1
 Windows 7 Professional Service Pack 1
 Windows 8.1 Update
 Windows 8.1 Pro Update
 Windows 10 Home
 Windows 10 Pro

※ 各 OS は日本語版のみの対応です。
 また、32/64 ビットの両方に対応しています。

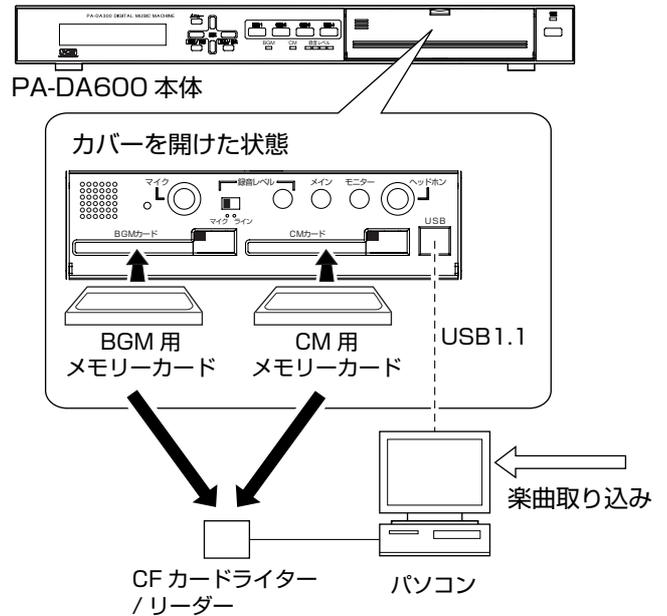
CPU、メモリ : 各 OS のシステム要件を満たすこと
 ディスプレイ : 1024 × 768 ドット以上
 HDD : アプリケーションのインストールに 50 MB 以上の空き容量が必要
 インターフェース : USB 準拠のシリアルインターフェース

メモ:

- コントロールパネルのデスクトップのカスタマイズの設定、または、設定のディスプレイのカスタマイズの設定で、テキストやその他の項目のサイズの拡大率が大きくなっている場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まらなくなることがあります。その場合は、設定ソフトウェアの項目が画面に収まるように、拡大率を下げてください。
- パソコンの仕様は、アプリケーションを快適にお使いいただくための目安であり、動作の保証をするものではありません。動作環境条件を満たしているパソコンをお使いでも、お客様の使用状況によっては快適にお使いいただけない場合があります。

システム接続

下記のように、PA-DA600 本体とパソコンを接続し、プレイリストの作成などを行います。



メモ:

- CM ファイル、BGM ファイルを登録する場合は、CF カード（デジタルメモリーカード）を CF カードライター / リーダーに挿入する必要があります。『CM ファイルの登録』（P.27 ページ）『BGM ファイルの登録』（P.28 ページ）を参照ください。
- PA-DA600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータ（システム設定、プレイリスト設定）を CF カードに書き込む場合は、下記の 2 種類の方法で行うことができます。
 - CF カードを PA-DA600 本体に挿入した状態で、パソコンと PA-DA600 本体を USB で接続する。
 - CF カードを挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続し、直接データの取り込み、書き込みを行う。

CF カードについて

- PA-DA600 本体で使用する CF カードは必ず指定品の「デジタルメモリーカード」をお使いください。指定品以外での動作保証はいたしません。
- 指定品：デジタルメモリーカード（サービスパーツ扱い）
 品番 T9D-0027-00 (512MB)

アプリケーションソフトのインストール

USB ドライバーのインストール

USB ドライバーのインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

PA-ZS600A のインストール

PA-ZS600A のインストール方法およびアンインストール方法は、インストールガイドをご覧ください。

プロジェクトを作成する

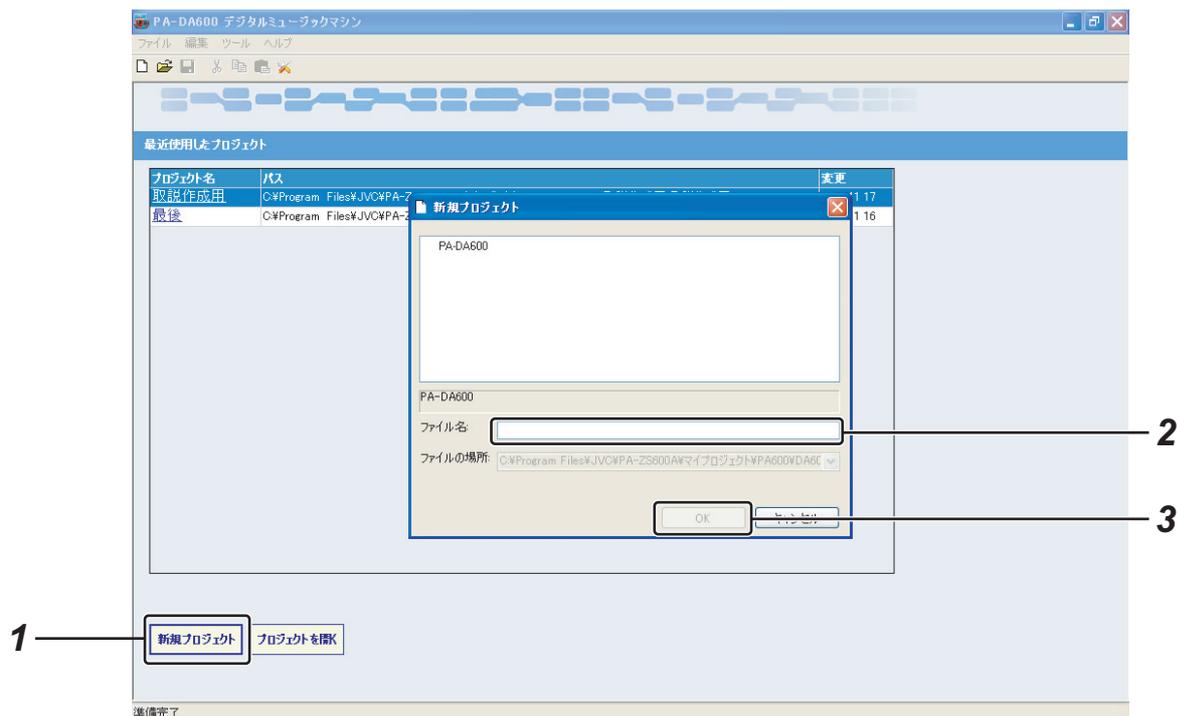
下記どちらかの方法で PA-ZS600A を起動し、プロジェクトを作成します。

- デスクトップの PA-ZS600A アイコンをクリックする。



PA-ZS600A

- Windows の [スタート] メニュー → [(すべての) プログラム] → PA-ZS600A をクリックする。



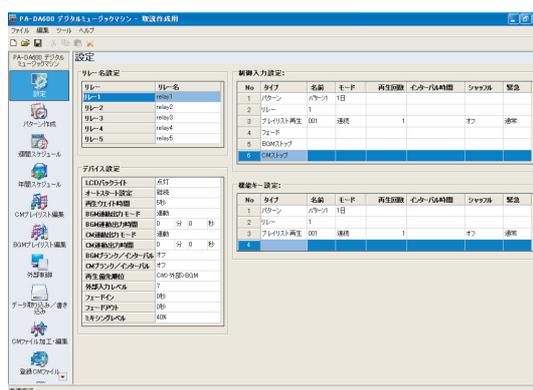
1. [新規プロジェクト] をクリックする

新規プロジェクト画面が表示されます。

2. ファイル名 (プロジェクト) を入力する

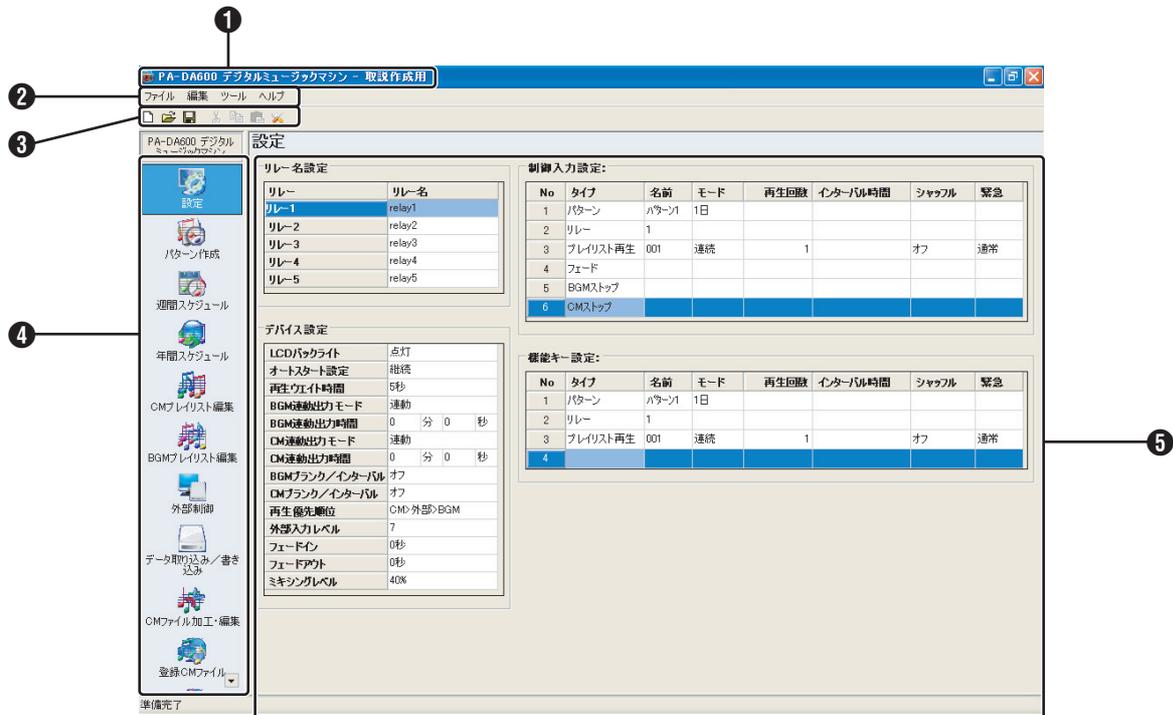
3. [OK] をクリックする

ファイル名 (プロジェクト) が決定され、設定画面が表示されます。



アプリケーションの概要

本アプリケーションでは、PA-DA600 本体に関する設定、パターン作成、スケジュール設定、プレイリストの編集、CM ファイルの加工・編集、音声ファイルの登録、パソコンによる PA-DA600 本体の制御、データの取り込み／書き込みの操作が可能です。



① タイトルバー

開いているプロジェクト名が表示されます。

② メニューバー

操作に必要なメニューを表示しています。

③ ツールバー

一部の機能をアイコン表示しています。

④ 登録 / 設定ボタン

● 設定

リレー名設定、デバイス設定、機能キー設定、制御入力設定など PA-DA600 本体に関する項目の設定をする場合にクリックします。

● パターン作成

パターン（1日のスケジュール）を設定する場合にクリックします。

● 週間スケジュール

1週間のスケジュールを設定する場合にクリックします。

● 年間スケジュール

1年間のスケジュールを設定する場合にクリックします。

● CM プレイリスト編集

CM ファイルからメッセージ・プレイリストを作成する場合にクリックします。

● BGM プレイリスト編集

BGM ファイルからミュージック・プレイリストを作成する場合にクリックします。

● 外部制御

PA-DA600 本体を、パソコンから操作する場合にクリックします。

● データ取り込み／書き込み

PA-DA600 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DA600 本体で設定したデータをパソコンに取り込んだり、パソコンで設定したデータを CF カードに書き込むことができます。

● CM ファイル加工・編集

パソコンで作成した WAV ファイル、PA-DA600 本体で録音した JAV ファイルの加工・編集する場合にクリックします。

● 登録 CM ファイル

PA-DA600 本体に WAV ファイル、JAV ファイルを CM ファイルとして登録する場合にクリックします。

● 登録 BGM ファイル

PA-DA600 本体に WMA ファイル、JMA ファイルを BGM ファイルとして登録する場合にクリックします。

⑤ 登録 / 設定画面表示エリア

選択した ④ 登録 / 設定ボタンの画面が表示されるエリアです。

メモリーカード作成手順

BGM 用、CM 用それぞれのメモリーカードを下記の手順で作成します。

ご注意:

- BGM 用メモリーカードには、BGM ファイルだけを書き込みます。
CM 用メモリーカードには、BGM プレイリスト、CM プレイリスト、スケジュールデータなどの設定データおよび CM ファイルを書き込みます。

BGM 用メモリーカードの作成手順

Step 1	BGM 用ファイルの作成 WMA ファイルを用意します。 使用できるフォーマットは、『BGM ファイルの登録』(P.28 ページ)を参照してください。
Step 2	BGM ファイルの登録 BGM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。(P.28 ページ)

CM 用メモリーカードの作成手順

1. CM ファイルを追加 (加工・編集) する

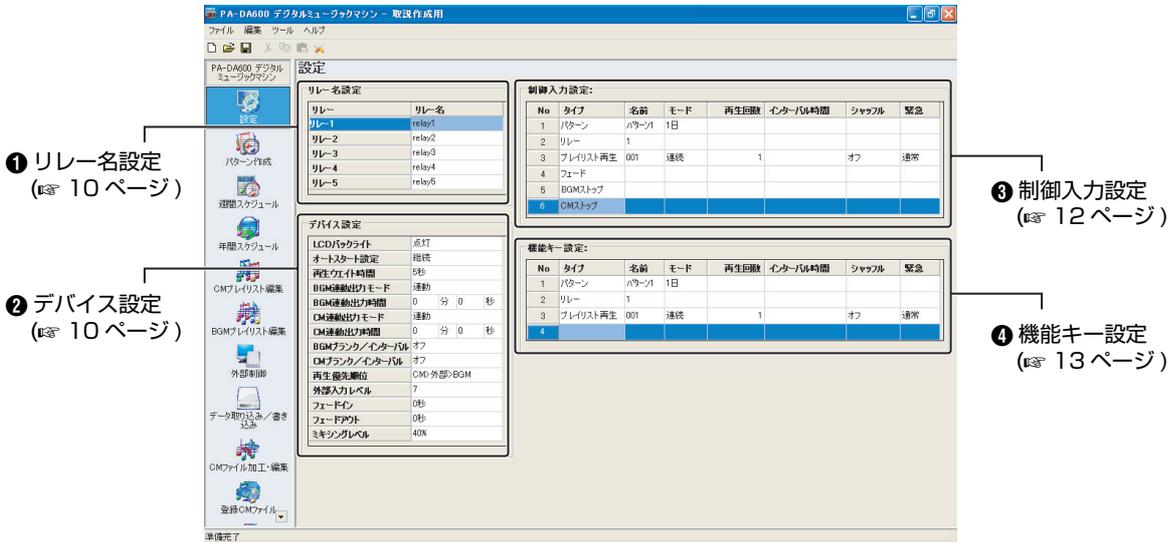
Step 1	CM ファイルの加工・編集 必要に応じて、PA-DA600 本体で録音した CM ファイルまたは、パソコンで作成した音声ファイルを編集します。(P.25 ページ)
Step 2	CM ファイルの登録 パソコンで作成した CM ファイルの追加や CM ファイルを加工・編集した場合に、CM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。(P.27 ページ)

2. 各種設定をする

Step 1	データの取り込み CM 用メモリーカードからプレイリストや設定データを取り込みます。(PA-DA600 本体で CM ファイルの録音や設定をしていない場合は取り込み不要です。)(P.23 ページ)
Step 2	CM プレイリスト、BGM プレイリストの編集 <ul style="list-style-type: none"> ● PCで作成したCMファイルを追加した場合や複数のメッセージを組み合わせる場合にプレイリストを作成します。(P.19 ページ) ● BGM 用のプレイリストを作成します。(P.21 ページ)
Step 3	パターン (1日のスケジュール) の設定 パターン (1日のスケジュール) を作成します。(P.15 ページ)
Step 4	週間スケジュール、年間スケジュールの設定 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定したパターンを月曜～日曜にあてはめて、週間スケジュールを作成します。(P.17 ページ) ● 週間スケジュールで設定したパターン以外で動作させる日を個別に指定します。(P.18 ページ)
Step 5	本体の設定 PA-DA600 本体の各動作の設定を行います。(P.10 ページ)
Step 6	データの書き込み パソコンで設定した内容を CM 用メモリーカードに書き込みます。(P.23 ページ)

本体の設定

本体のハードウェアに関する設定をパソコンで行うことができます。
 設定アイコンをクリックし、必要に応じて下記設定を行ってください。
 各設定項目の機能および仕様詳細については、PA-DA600 本体に添付の取扱説明書を参照してください。



① リレー名設定

[リレー名]の欄をクリックして、名称を入力します。

メモ: _____

- リレー名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
 ^ # \$ % & () - _ { } !
- リレー名の長さは 8 文字までです。

② デバイス設定

- LCD バックライト

PA-DA600 本体の LCD 画面のバックライトの設定を行います。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値: 点灯 (常にバックライトを点灯します)
 消灯 (常にバックライトを消灯します)
 キー連動(キーを押すと 30 秒間点灯し、その後消灯します)]

メモ: _____

- 「消灯」に設定した場合でも、下記の状態になるとバックライトが点灯します。
 - ・メインメニュー画面に入ったとき
 - ・パソコンとの通信を開始したとき

- オートスタート設定

電源を入れた時の実行状態を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

- [設定値: 継続 (電源を入れると、自動的に電源を切る前の状態に戻ります。)
- 実行 (電源を入れると、自動的に実行状態になります。)
- 待機 (電源を入れると、自動的に待機状態になります。)]

- 再生ウエイト時間

PA-DA600 本体背面の CM アンプ電源端子、BGM アンプ電源端子の起動からプレイリスト再生開始までの時間を 1 秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。
 [設定値: 0 秒 ~ 99 秒]

メモ: _____

- 制御入力、機能キーでプレイリスト再生する場合は、信号入力と同時に CM アンプ電源端子、BGM アンプ電源端子が起動し、再生ウエイト時間後、プレイリスト再生を開始します。
 スケジュールでプレイリストを再生する場合は、開始時間より、再生ウエイト時間だけ前に CM アンプ電源端子、BGM アンプ電源端子が起動し、開始時間よりプレイリスト再生を行います。

- BGM 連動出力モード

PA-DA600 本体背面の BGM 連動出力端子のモードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

- [設定値: 連動 (BGM ファイルの再生に連動します。BGM 再生終了後に外部機器を制御します)
 制御出力(制御出力 4 として、使用します)]

- BGM 連動出力時間

PA-DA600 本体背面の BGM 連動出力端子の連動時間を 1 秒ステップで設定します。
[設定値：0 分 0 秒～ 60 分 0 秒]

メモ: _____

- BGM 連動出力時間は、BGM 連動出力モードを「連動」に設定時に有効になります。
-

- CM 連動出力モード

PA-DA600 本体背面の CM 連動出力端子のモードを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：連動 (CM ファイルの再生に連動します。CM 再生終了後に外部機器を制御します)

緊急 (緊急指定したプレイリスト再生時に外部機器を制御します)

ビジー (録音／消去の状態を表示します)

制御出力(制御出力 5 として、使用します)]

- CM 連動出力時間

PA-DA600 本体背面の CM 連動出力端子の連動時間を 1 秒ステップで設定します。
[設定値：0 分 0 秒～ 60 分 0 秒]

メモ: _____

- CM 連動出力時間は、CM 連動出力モードを「連動」に設定時に有効になります。
-

- BGM ブランク／インターバル

BGM ファイルを再生していない時間について、PA-DA600 本体背面 BGM アンブ電源端子出力のオン／オフを設定します。

[設定値：オフ：ブランク／インターバル時間は出力しない
オン：ブランク／インターバル時間も出力する]

メモ: _____

- 「インターバル時間」(③ 制御入力設定、④ 機能キー設定) および「ブランク時間」(BGM プレイリスト編集) が 100 秒以上に設定されているときに有効になります。100 秒未満のときは、BGM ファイルを再生していない間も BGM 電源端子は出力されます。
 - BGM アンブ電源端子の動作に関しては、PA-DA600 取扱説明書 128 ページをご覧ください。
-

- CM ブランク／インターバル

CM ファイルを再生していない時間について、PA-DA600 本体背面 CM アンブ電源端子出力のオン／オフを設定します。

[設定値：オフ：ブランク／インターバル時間は出力しない
オン：ブランク／インターバル時間も出力する]

メモ: _____

- 「インターバル時間」(③ 制御入力設定、④ 機能キー設定) および「ブランク時間」(CM プレイリスト編集) が 100 秒以上に設定されているときに有効になります。100 秒未満のときは、CM ファイルを再生していない間も CM アンブ電源端子は出力されます。
 - CM アンブ電源端子の動作に関しては、PA-DA600 取扱説明書 129 ページをご覧ください。
-

- 再生優先順位

音源の優先レベルを設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。なお、外部とは本体背面の外部入力端子に接続された音源です。

[設定値：CM > 外部 > BGM (CM プレイリストを最も優先して再生し、次に外部音源で、BGM プレイリストが最も優先順位が低くなります)

CM > BGM > 外部 (CM プレイリストを最も優先して再生し、次に BGM プレイリストで、外部音源が最も優先順位が低くなります)

外部 > BGM > CM (外部音源を最も優先して再生し、次に BGM プレイリストで、CM プレイリストが最も優先順位が低くなります)

外部 > CM > BGM (外部音源を最も優先して再生し、次に CM プレイリストで、BGM プレイリストが最も優先順位が低くなります)

BGM > 外部 > CM (BGM プレイリストを最も優先して再生し、次に外部音源で、CM プレイリストが最も優先順位が低くなります)

BGM > CM > 外部 (BGM プレイリストを最も優先して再生し、次に CM プレイリストで、外部音源が最も優先順位が低くなります)]

- 外部入力レベル

PA-DA600 本体背面の外部入力端子に接続された音源の出力レベル(音量)を設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：0(音量小)～ 9(音量大)]

- フェードイン

フェードインの時間を 1 秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが設定されます。

[設定値：0 秒～ 10 秒]

- フェードアウト

フェードアウトの時間を 1 秒ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが設定されます。

[設定値：0 秒～ 10 秒]

- ミキシングレベル

音源の再生が重なったとき、優先されていない音源のミキシングのレベルを 10%ステップで設定します。項目をクリックするとプルダウンメニューが表示されます。

[設定値：0%(無音)～ 100%(そのままのレベル)]

③ 制御入力設定

設定した欄をダブルクリックすると、起動番号編集画面が表示されます。

起動番号編集画面では、制御入力に割り付ける動作を設定します。割り付ける動作により設定する項目が変わります。

メモ:

- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集…」を選択してクリックする。



① 制御入力に割り付ける動作を設定する

[設定値:]

- なし : 制御入力に動作を割り付けないときに選択します。
- パターン : 制御入力を使って、パターンを起動させるときに選択します。
- リレー : 制御入力を使って、リレーを動作させるときに選択します。
- プレイリスト再生 : 制御入力を使って、プレイリストを再生させるときに選択します。
- 時刻校正 : 制御入力を使って、PA-DA600の時刻を校正する場合に選択します。

メモ:

- 時刻校正は「起動番号 6」でのみ設定可能です。

- パターン停止 : 制御入力を使って、パターンを停止するときを選択します。
- BGM ストップ : 制御入力を使って、BGM ファイルを停止するときを選択します。
- CM ストップ : 制御入力を使って、CM ファイルを停止するときを選択します。
- リレーストップ : 制御入力を使って、リレー動作を停止するときを選択します。
- フェード : 制御入力を使って、フェード動作を行うときを選択します。
- CM 録音 : 制御入力を使って、CM ファイルを録音するときを選択します。
- CM 消去 : 制御入力を使って、CM ファイルを消去するときを選択します。]

■「パターン」を選択した場合の手順

- ② パターン作成画面で作成したパターンを選択します。
- ③ 動作モードを選択します。[設定値: 1日 / 継続]
- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面を閉じます。

■「リレー」を選択した場合の手順

- ② リレーを選択します。[設定値: 1 ~ 5]

メモ:

- [制御出力4] 端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「BGM 連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。
- [制御出力5] 端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「CM 連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。

- ③ 設定しません。

- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面を閉じます。

■「プレイリスト再生」を選択した場合の手順

- ② プレイリスト No. を選択します。
[設定値: 001 ~ 499(CM プレイリスト), 501 ~ 999(BGM プレイリスト)]
- ③ 再生モード、再生回数、インターバル時間、シャッフル、緊急を設定します。
 - 再生モード [設定値: 連続 / 単独]
 - 再生回数 [設定値: エンドレス / 1 ~ 99]
 - インターバル時間 [設定値: 0分0秒 ~ 99分0秒 (10秒ステップ)]
 - シャッフル [設定値: オン / オフ]
 - 緊急 [設定値: 緊急 / 通常]

メモ:

- 「再生モード」設定の動作に関しては PA-DA600 取扱説明書 119 ページをご覧ください。
- 「再生回数」「インターバル時間」設定の動作に関しては PA-DA600 取扱説明書 120 ページをご覧ください。
- 「再生モード」を「連続」設定した場合に「再生回数」「インターバル時間」の設定を行います。また、「再生回数」を 1 回に設定した場合は、「インターバル時間」の設定は行いません。
- CM プレイリスト(プレイリスト No. 001 ~ 499) を選択した場合は「緊急」の設定が可能です。

- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面を閉じます。

■「CM 録音」、「CM 消去」を選択した場合の手順

- ② プレイリスト No. を選択します。
[設定値：001～499(CM プレイリスト)]
- ③ 設定しません。
- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面を閉じます。

■「なし」、「時刻校正」、「パターン停止」、「BGM ストップ」、「CM ストップ」、「リリーストップ」、「フェード」を選択した場合

- ② 選択しません。
- ③ 設定しません。
- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、起動番号編集画面を閉じます。

④ 機能キー設定

設定した欄をダブルクリックをすると、機能キー編集画面が表示されます。

機能キー編集画面では、機能キーに割り付ける動作を設定します。割り付ける動作により設定する項目が変わります。

メモ:

- ダブルクリック以外でも以下の方法で表示できます。
 - ・ 右クリックでメニューを表示し「編集…」を選択してクリックする。



① 機能キーに割り付ける動作を設定する

[設定値:]

- なし : 機能キーに動作を割り付けないときに選択します。
- パターン : 機能キーでパターンを起動させるときに選択します。
- リレー : 機能キーで、リレーを動作させるときに選択します。
- プレイリスト再生 : 機能キーで、プレイリストを再生させるときに選択します。]

■「パターン」を選択した場合の手順

- ② パターン作成画面で作成したパターンを選択します。
- ③ 動作モードを選択します。[設定値：1日/継続]
- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、機能キー編集画面を閉じます。

■「リレー」を選択した場合の手順

- ② リレーを選択します。[設定値：1～5]

メモ:

- [制御出力4] 端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「BGM 連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。
- [制御出力5] 端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「CM 連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。

- ③ 設定しません。

- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、機能キー編集画面を閉じます。

■「プレイリスト再生」を選択した場合の手順

- ② プレイリスト No. を選択します。
[設定値：001～499(CM プレイリスト)、501～999(BGM プレイリスト)]
- ③ 再生モード、再生回数、インターバル時間、シャッフル、緊急を設定します。
 - 再生モード [設定値：連続/単独]
 - 再生回数 [設定値：エンドレス/1～99]
 - インターバル時間 [設定値：0分0秒～99分0秒(10秒ステップ)]
 - シャッフル [設定値：オン/オフ]
 - 緊急 [設定値：緊急/通常]

メモ:

- 「再生モード」設定の動作に関しては PA-DA600 取扱説明書 124 ページをご覧ください。
- 「再生回数」「インターバル時間」設定の動作に関しては PA-DA600 取扱説明書 125 ページをご覧ください。
- 「再生モード」を「連続」設定した場合に「再生回数」「インターバル時間」の設定を行います。また、「再生回数」を 1 回に設定した場合は、「インターバル時間」の設定は行いません。
- CMプレイリスト(プレイリストNo. 001～499)を選択した場合は「緊急」の設定が可能です。

- ④ 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、機能キー編集画面を閉じます。

メモリーカード作成

■ 制御入力設定、機能キー設定をコピーする

設定画面で、制御入力設定、機能キー設定をコピーすることができます。同じような動作を設定する場合と便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。
2. [コピー]をクリックする



3. 動作が設定されていない欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。
4. [貼り付け]を選択する
設定がコピーされます。

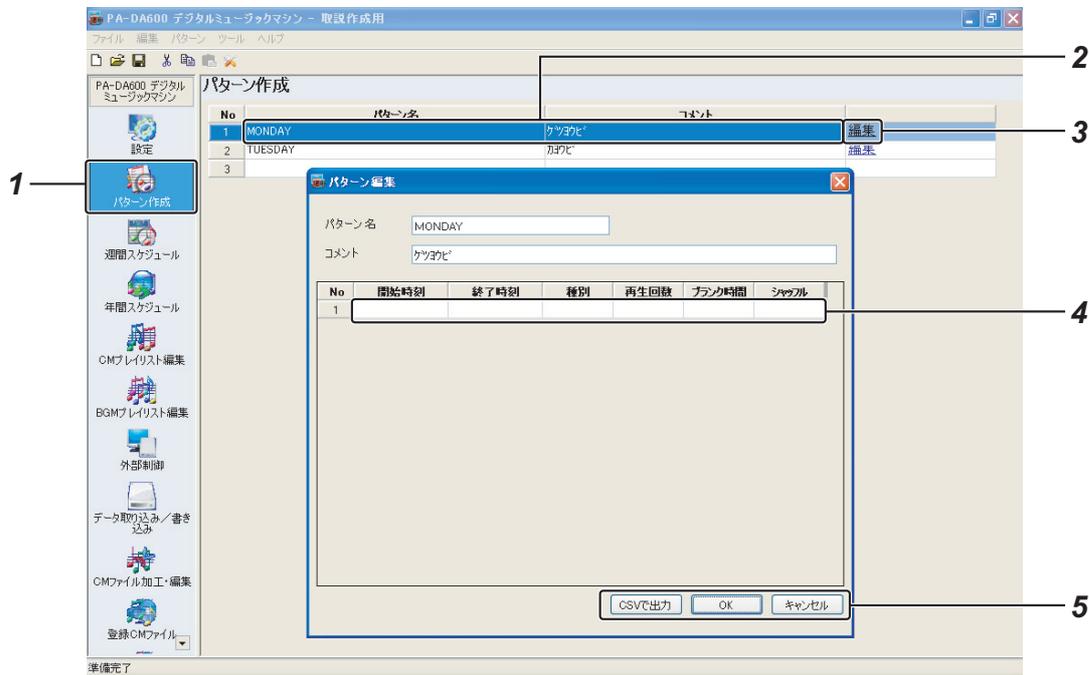


メモ:

- 機能キー設定にコピーできる動作は、「パターン」「リレー」「プレイリスト再生」の3種類です。
- 「時刻校正」は制御入力設定 No.6 のみに割付けできます。
- すでに動作が設定されている欄にはコピーできません。

パターンの設定

ステップ(動作)を組み合わせて、パターン(1日のスケジュール)を作成します。



1. [パターン作成] アイコンをクリックします

パターン作成画面が表示されます。

2. [パターン名]/[コメント]の欄をダブルクリックし、入力する

パターン名を入力します。必要に応じてコメントも入力できます。

パターン名の例：\イヅツ、トヨビ、キウヅツ、シユヅツ

メモ：_____

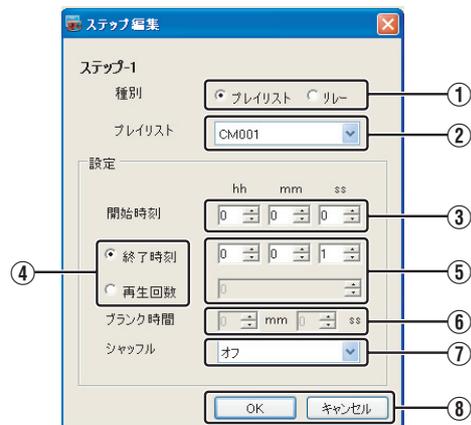
- パターン名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^#\$\$%&()-_{}!
- パターン名の長さは8文字までです。
- コメントの入力は半角、全角文字どちらも可能です。
- コメントの長さは、半角・全角とも16文字までです。
- コメントの内容は本体に転送されません。

3. [編集] をクリックする

パターン編集画面が表示されます。

4. ステップを編集する

ステップ欄をダブルクリックすると、ステップ編集画面が表示されます。



- ① プレイリストを再生するか、リレーを起動するかを選択します。

プレイリスト：CMプレイリスト、BGMプレイリストを再生します。

リレー：PA-DA600本体の背面の[制御出力1～5]端子に接続された機器を起動します。

メモ：_____

- [制御出力4]端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「BGM連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。
- [制御出力5]端子をリレー制御に使用する場合は、設定画面「CM連動出力モード」を「制御出力」に設定してください。

メモリーカード作成

■ プレイリストを選択した場合の手順

- 再生するプレイリストを選択します。
「設定値：CM001～CM499 (CM プレイリスト)
BGM501～BGM499 (BGM プレイリスト)」
- 開始時刻を入力します
- 「終了時刻」もしくは「再生回数」を選択します。
- 「終了時刻」を選択した場合には、終了時刻を設定します。
「再生回数」を選択した場合には、再生する回数を設定します。「設定値：1回～99回」
- 「ブランク時間」を設定します。
「設定値 0分0秒～99分0秒(10秒ステップ)」

メモ:

- 「ブランク時間」は「再生回数」を2回以上設定した場合に設定可能になります。

- 「シャッフル」を設定します。 設定値「オフ/オン」
- 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面を閉じます。

ご注意:

- 設定しているパターン内に他のステップと時間が重複している2つのCMプレイリスト、2つのBGMプレイリストを設定すると、エラーが表示されます。時間が重複しないように設定を変更してください。

■ リレーを選択した場合の手順

- 起動するリレーを選択します。
「設定値：RY1～RY5」
- 開始時刻を入力します
- 設定しません。
- 終了時刻を設定します。
- 設定しません。
- 設定しません。
- 設定が終了したら、[OK] をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ステップ編集画面を閉じます。

ご注意:

- 設定しているパターン内に他のステップと時間が重複している同一のリレー番号を設定すると、エラーが表示されます。時間が重複しないように設定を変更してください。

5. すべての設定が完了したら、「OK」ボタンをクリックする

メモ:

- パターン編集画面の1行が1ステップを表します。
- 設定できるパターンとステップの最大数は下記のとおりです。
パターン：最大99
ステップ：最大4000ステップ
(1パターン内の最大ステップは999ステップ)

■ ステップをコピーする

パターン編集画面で、ステップをコピーすることができます。

同じような動作を設定する場合に便利です。

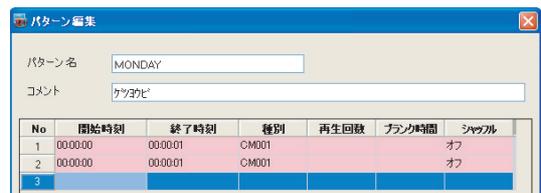
- コピーする欄を選択し、右クリックする。
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます
- 「コピー」をクリックする



- 貼り付ける欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

- 「貼り付け」を選択する

ステップがコピーされます。このとき、同じ時間に同じステップが2つ存在するので、ステップの欄が緑色とピンク色で点滅表示されます。



- コピーしたステップの内容を変更する

このとき、点滅表示されなくなったことを確認してください。

点滅表示のまま設定を終えると、点滅表示中のステップは動作しません。

■ パターンをコピーする

パターン作成画面でパターンをコピーすることができます。

同じようなパターンを設定する場合に便利です。

- コピーする欄を選択し、右クリックする。
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます
- 「コピー」をクリックする
- 貼り付ける欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

- 「貼り付け」を選択する

パターンがコピーされます。このとき、パターン名は自動的に貼り付けられます。

- パターン名、内容を変更する

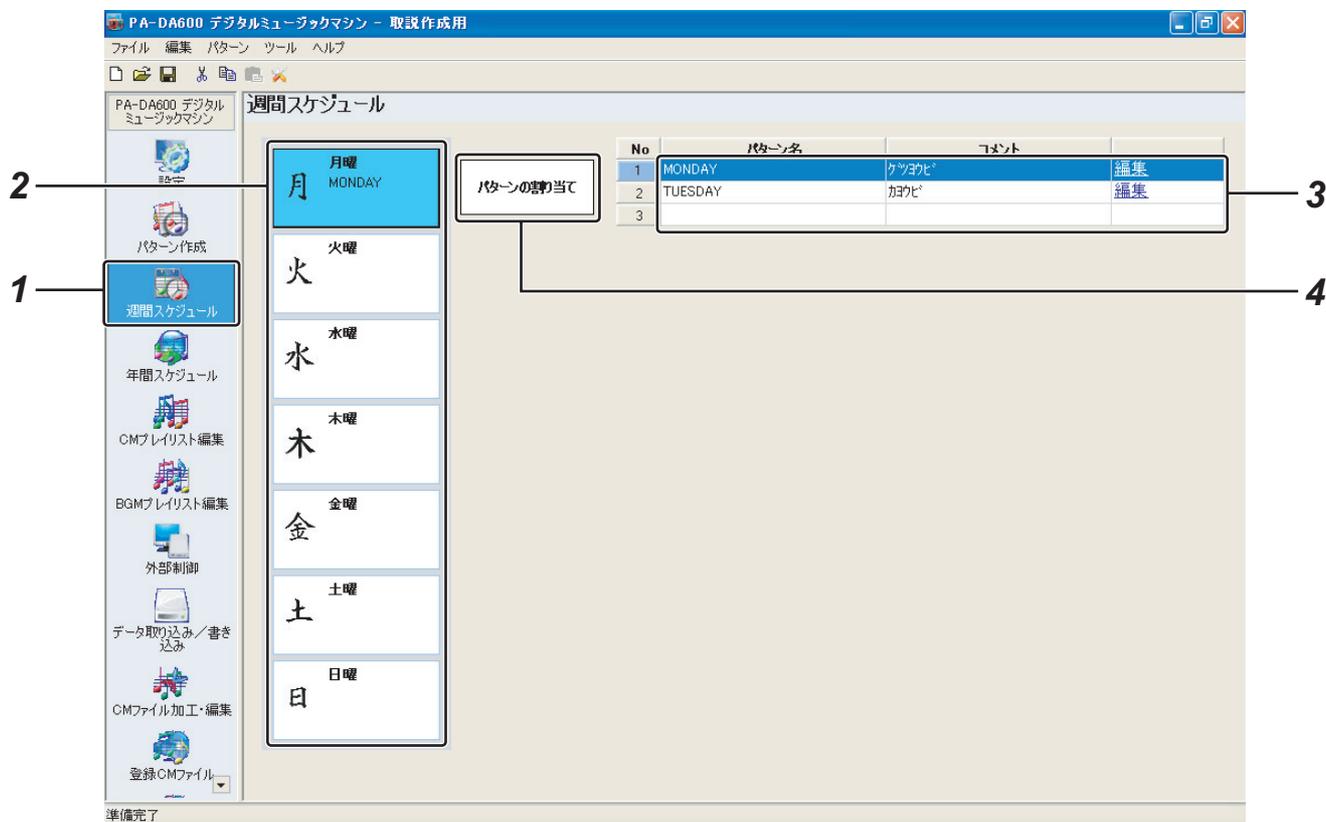
必要に応じ、パターン名や内容を変更します。

メモ:

コピー先のパターン名はコピー元と違うパターン名になります。

週間スケジュールの設定

作成したパターンを月曜日～日曜日に割り当て、週間スケジュールを作成します。



1. 「週間スケジュール」アイコンをクリックする。

週間スケジュール作成画面が表示されます。

2. 曜日ボタンを選択する。

選択された曜日ボタンは青く表示されます。

3. 選択した曜日に割り当てるパターンを選択する

パターン設定で設定した「パターン名」と「コメント」が表示されます。

メモ:

- 「編集」をクリックすると、「パターン編集画面」が表示され、パターンの編集を行うこともできます。

4. 「パターンの割り当て」ボタンをクリックする

選択したパターンが割り当てられ、曜日ボタンの中にパターン名が表示されます。

ご注意:

- 前後の曜日のパターン間の重なりあう時間帯で同一のリリース番号、2つのBGMプレイリスト、2つのCMプレイリストのいずれかの設定の重複が発生していると、エラーが表示されます。それらの設定の重複が起これないように、それぞれのパターンを設定してください。

メモ:

- スケジュールの割り当てが完了したあと、曜日ボタンを右クリックすると、下記項目が表示されます。

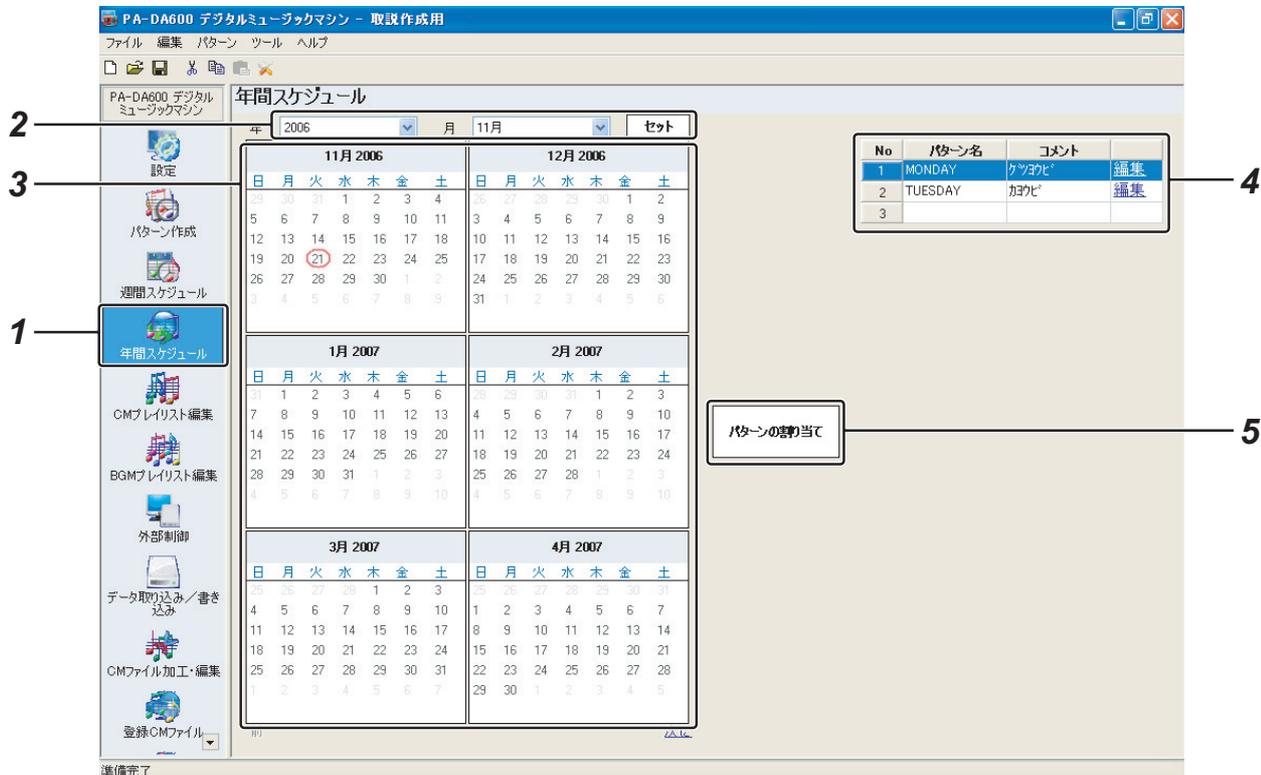


- ① パターン編集画面が表示され、パターンの編集ができます。

- ② 割り付けたパターンを解除します。

年間スケジュールの設定

年間を通して、個別にパターンを割り当てる場合に設定します。年間スケジュールで割り当てたパターンは週間スケジュールで割り当てたパターンより優先され、実行されます。



1. 「年間スケジュール」アイコンをクリックする

年間スケジュール作成画面が表示されます。

2. 年月を設定する

設定する年度と、始め月をプルダウンメニューから選択し、「セット」ボタンを押します。
カレンダーは半期分表示されます。

3. パターンを割り付ける日を選択する

選択した日付が青枠で表示されます。

4. 割り付けるパターンを選択する。

割り当てるパターンを選択してください。

メモ:

- 「編集」をクリックすると、「パターン編集画面」が表示され、パターンの編集を行うことができます。

5. 「パターンの割り当て」ボタンをクリックする

パターンが割付けられた日付は青字で表示され下線がひかれます。

ご注意:

- 前後の曜日のパターン間の重なりあう時間帯で同一のリリース番号、2つのBGMプレイリスト、2つのCMプレイリストのいずれかの設定の重複が発生していると、エラーが表示されます。
それらの設定の重複が起こらないように、それぞれのパターンを設定してください。

メモ:

- スケジュールの割り当てが完了したあと、パターンが割り付けられた日付ボタンを右クリックすると、下記項目が表示されます。



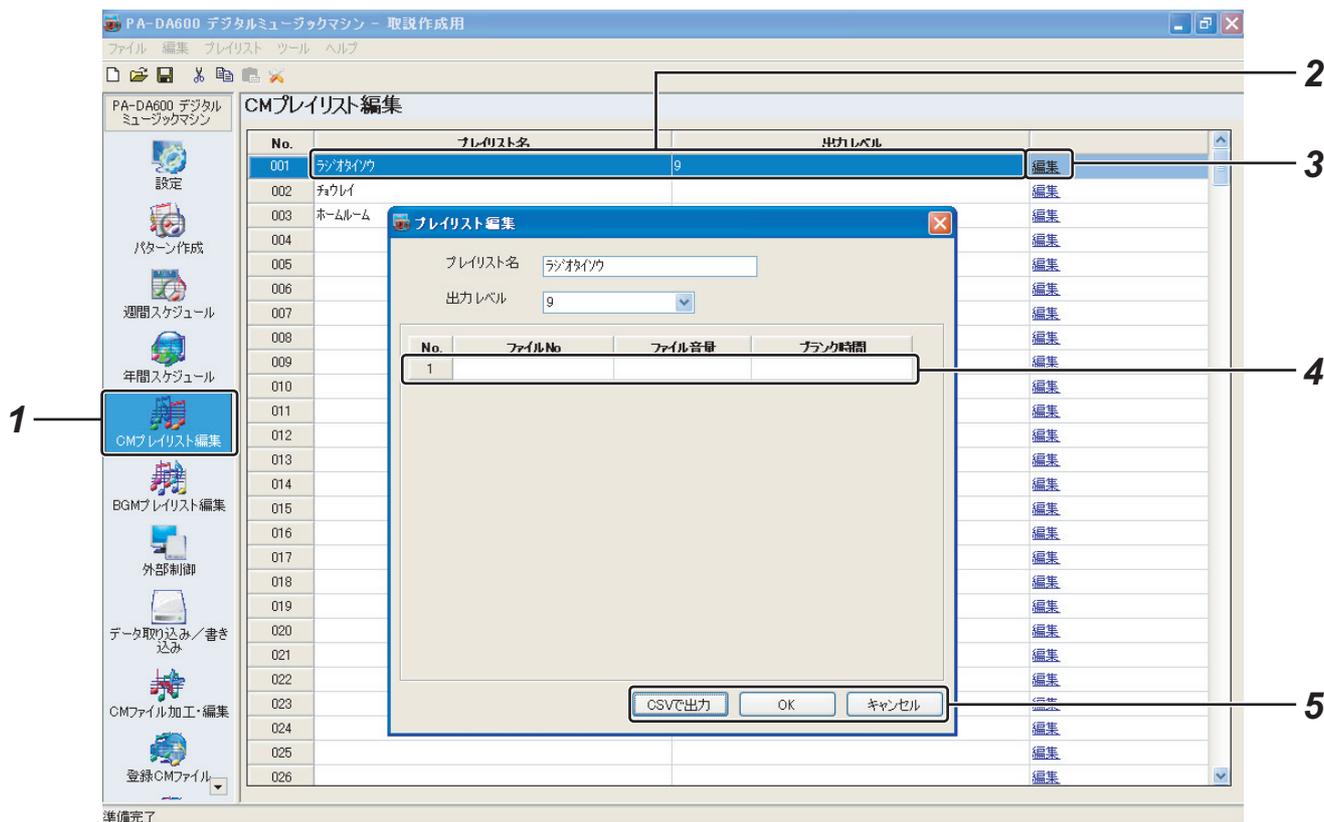
- ① パターン編集画面が表示され、パターンの編集ができます。
- ② 割り付けたパターンを解除します。

データ編集

CM プレイリストの編集

CM ファイルを CM プレイリストに登録することにより、複数のメッセージ（CM ファイルと再生音量を設定したもの）を組み合わせて放送することができます。

（CM プレイリストは最大 499 個作成でき、各プレイリストに登録できるメッセージの数は最大 100 です）



1. CM プレイリスト編集アイコンをクリック

CM プレイリスト編集画面が表示されます。

3. [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

2. [プレイリスト名] / [出力レベル]の欄をダブルクリックし、入力する

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ラジオタイク、チャクイ、ホームルーム

メモ:

- プレイリスト名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^ # \$ % & () - _ { } !

- プレイリスト名の長さは 8 文字までです。

出力レベルはプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：0（音量小）～9（音量大）]

メモリーカード作成

4. メッセージを編集する

メッセージ欄をダブルクリックすると、メッセージ編集画面が表示されます。



① ファイル No. を設定する

再生したいファイル No. をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：CM000010～CM009990]

メモ:

- 本アプリケーションと PA-DA600 本体での設定 (PA-DA600 取扱説明書 102 ページ) では、この設定値は以下の関係となっています。

本アプリケーション	PA-DA600 本体
CM 000010	C001
}	}
CM 009990	C999

② ファイル音量を設定する

ファイルの再生音量をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：0 (音量小)～10 (音量大)]

③ ブランク時間を設定する

ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。0.5 秒ステップで設定できます。

[設定値：0 分 0 秒 0～99 分 0 秒 0]

④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、メッセージ編集画面が閉じます。

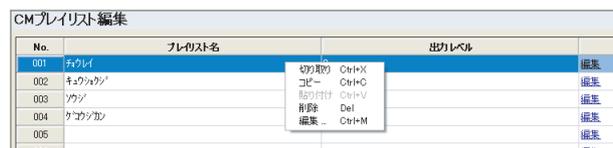
5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

■ CM プレイリストをコピーする

CM プレイリスト編集画面で、CM プレイリストをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする



3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

4. [貼り付け] を選択する

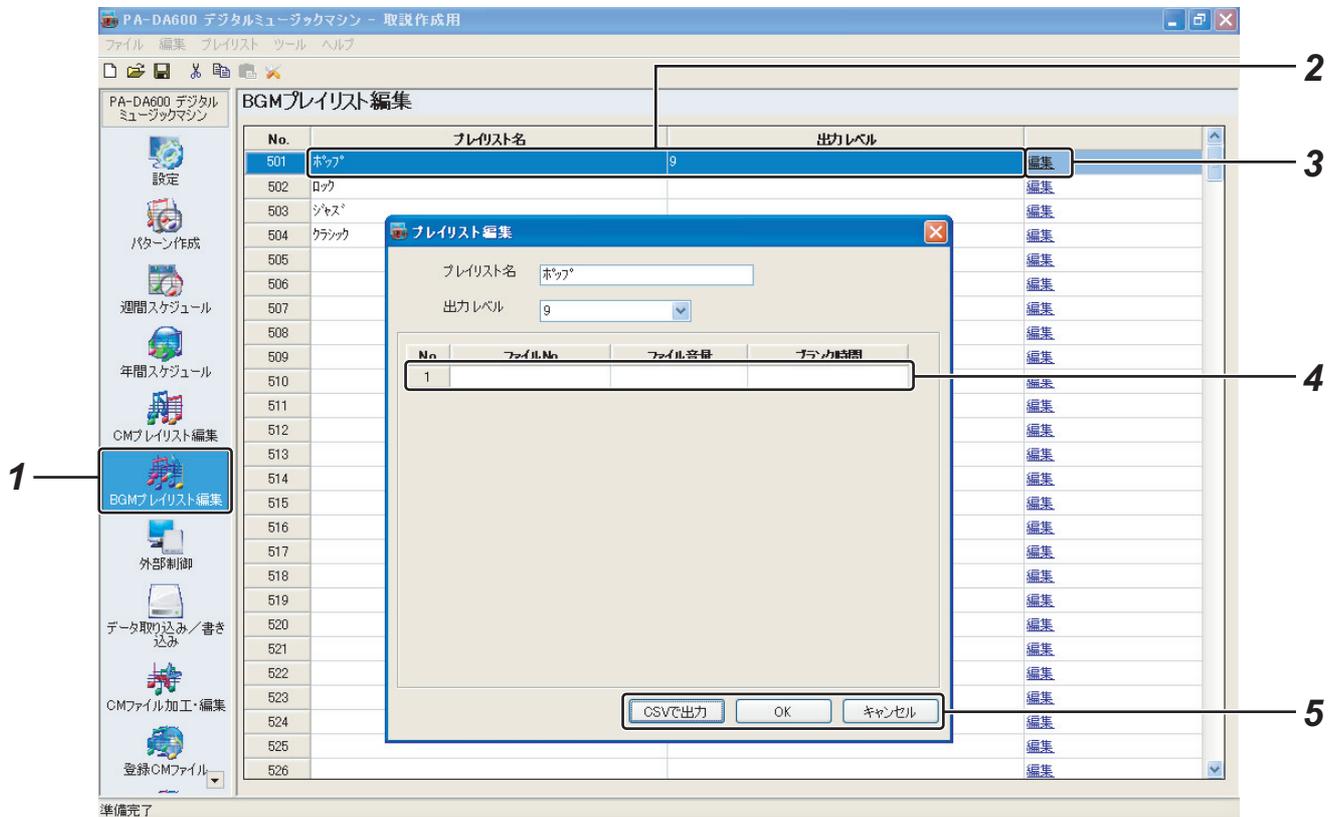
CM プレイリストがコピーされます。



BGM プレイリストの編集

BGM ファイルを BGM プレイリストに登録することにより、複数のミュージック（BGM ファイルと再生音量を設定したもの）を組み合わせることで放送することができます。

（BGM プレイリストは最大 499 個作成でき、各プレイリストに登録できるミュージックの数は最大 100 です）



1. BGM プレイリスト編集アイコンをクリック

BGM プレイリスト編集画面が表示されます。

2. [プレイリスト名] / [出力レベル]の欄をダブルクリックし、入力する

プレイリスト名を入力します。

プレイリスト名の例：ポップス、ロック、ジャズ、クラシック

メモ：_____

- プレイリスト名に使用できる文字は半角のみで、カタカナ、アルファベット、数字、スペースおよび下記の記号です。
^ # \$ % & () - _ { } !
- プレイリスト名の長さは 8 文字までです。

出力レベルはプルダウンメニューで選択してください。
[設定値：0（音量小）～9（音量大）]

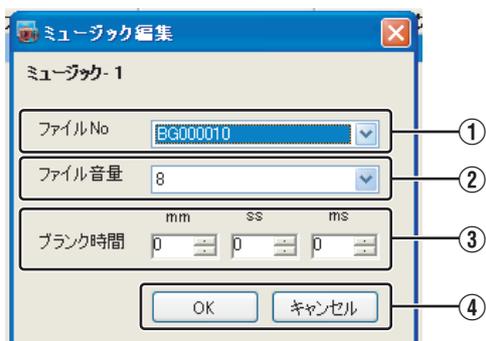
3. [編集] をクリックする

プレイリスト編集画面が表示されます。

メモリーカード作成

4. ミュージックを編集する

ミュージック欄をダブルクリックすると、ミュージック編集画面が表示されます。



① ファイル No. を設定する

再生したいファイル No. をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：BG000010～BG009990]

メモ:

- 本アプリケーションと PA-DA600 本体での設定 (PA-DA600 取扱説明書 46 ページ) では、この設定値は以下の関係となっています。

本アプリケーション	PA-DA600 本体
BG 000010	B001
}	}
BG 009990	B999

② ファイル音量を設定する

ファイルの再生音量をプルダウンメニューで選択してください。

[設定値：0 (音量小)～10 (音量大)]

③ ブランク時間を設定する

ファイル再生時、次のファイル再生開始までのブランク時間 (間隔) を設定します。0.5 秒ステップで設定できます。

[設定値：0 分 0 秒 0～99 分 0 秒 0]

④ 設定が終了したら [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、編集が中断され、ミュージック編集画面が閉じます。

5. すべての設定が完了したら [OK] をクリックする

■ BGM プレイリストをコピーする

BGM プレイリスト編集画面で、BGM プレイリストをコピーすることができます。同じような動作を設定する場合に便利です。

1. コピーする欄を選択し、右クリックする
選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

2. [コピー] をクリックする

No.	プレイリスト名	出力レベル	
501	ハナカク	9	編集
502	アルファカク	9	編集
503	タシキカク	9	編集
504	カク	9	編集
505	スペースカク	9	編集
506	アマビカク	9	編集
507	ユメ	9	編集

3. 貼り付ける欄を選択し、右クリックする

選択された欄が青くなり、メニューが表示されます。

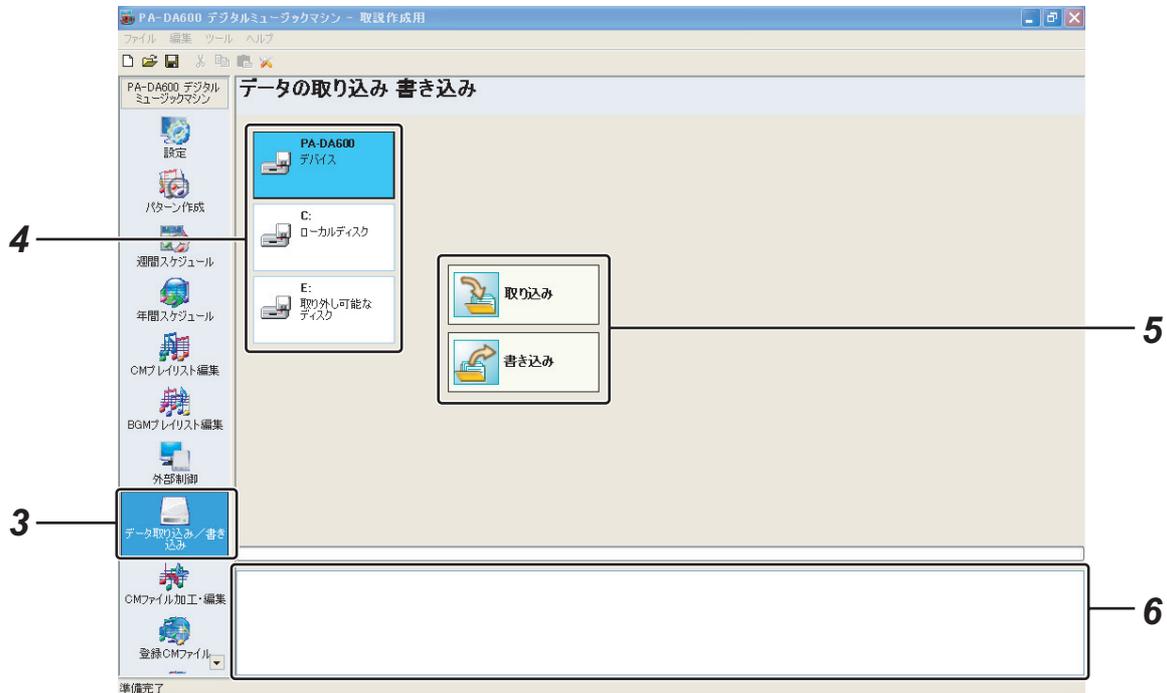
4. [貼り付け] を選択する

BGM プレイリストがコピーされます。

No.	プレイリスト名	出力レベル	
501	ハナカク	9	編集
502	アルファカク	9	編集
503	タシキカク	9	編集
504	カク	9	編集
505	スペースカク	9	編集
506	アマビカク	9	編集
507	ユメ	9	編集
508			編集
509			編集
510			編集
511			編集
512			編集

データの取り込み / 書き込み

PA-DA600 本体または CF カードライター／リーダーを使用して、PA-DA600 本体で設定したプレイリストなどのデータをパソコンに取り込んで編集したり、本アプリケーションで設定したスケジュールやプレイリストなどのデータを CF カードに書き込むことができます



■ PA-DA600 本体を使用した場合

1. パソコンとPA-DA600本体をUSBケーブルで接続する (5 ページ)

2 PA-DA600 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] (待機中) になっていることを確認する

ご注意:

- PA-DA600 本体の LCD 画面が [タイキチュウ] になっていないと、パソコンとの通信はできません。

3. [データ取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意:

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、PA-DA600 本体の CF カードにあるプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。
- データの取り込み、書き込みでは、音声ファイルの取り込み、書き込みはできません。

4. [PA-DA600 デバイス] をクリックする

5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする

PA-DA600 本体の CF カードからスケジュールやプレイリストなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したスケジュールやプレイリストなどのデータを本体に書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。

6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了

取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

メモ:

取り込み、書き込みには約 30 秒から数分かかります。

メモリーカード作成

■ CF カードライター / リーダーを使用した場合

1. 「CM 用メモリーカード」を挿入した CF カードライター / リーダーをパソコンに接続する

メモ: _____

- 本体の設定やスケジュールやプレイリストなどのデータは CM 用メモリーカードに書き込みます。

2. パソコンの [マイコンピュータ] などで、CF カードが認識されていることを確認する

3. [データの取り込み / 書き込み] アイコンをクリックする

データ取り込み / 書き込み画面が表示されます。

ご注意: _____

- データの取り込みを行うと、パソコン側で編集中のプレイリストなど、プロジェクトのデータがすべて上書きされます。
- データの書き込みを行うと、CF カードのスケジュールやプレイリストなどのデータがすべて上書きされます。データの書き込みの前に必ず、別のプロジェクトでデータを取り込み、バックアップを行なってください。

4. [取り外し可能なディスク] (CF カードドライブ) をクリックする

5. [取り込み] もしくは [書き込み] をクリックする

CF カードからスケジュールやプレイリストなどのデータを取り込む場合は [取り込み]、設定したスケジュールやプレイリストなどのデータを CF カードに書き込む場合は [書き込み] をそれぞれクリックします。

6. [取り込み] もしくは [書き込み] の完了

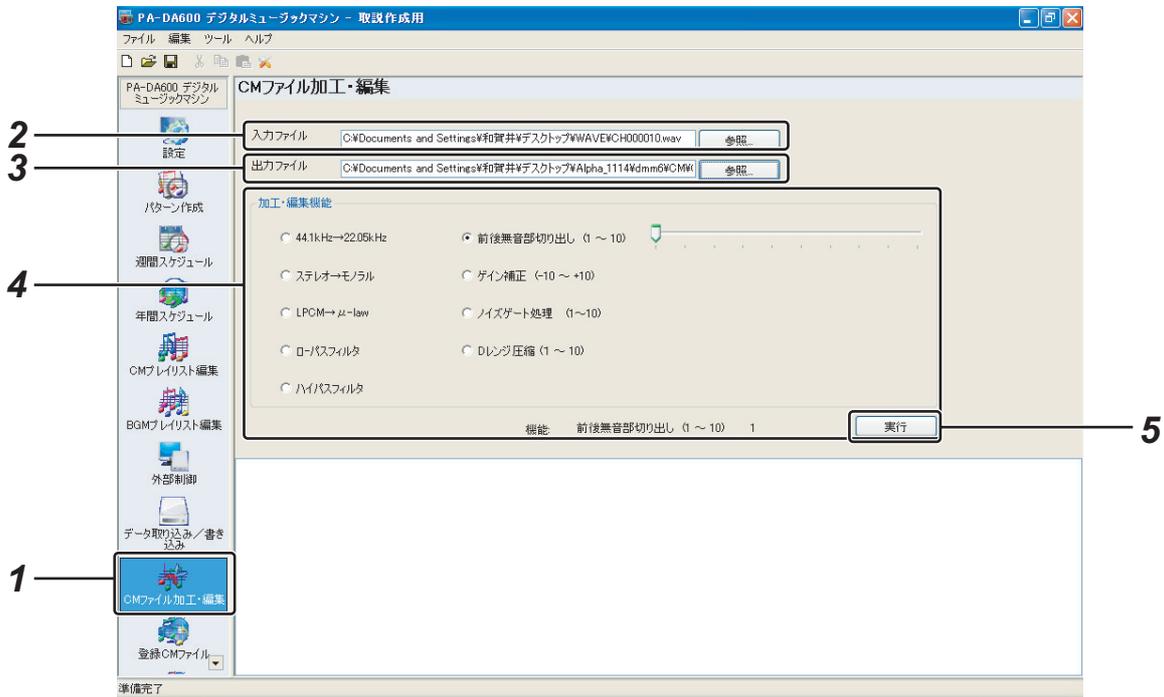
取り込みが完了するとメッセージウインドウに「インポートに成功しました。」と表示されます。

書き込みが完了するとメッセージウインドウに「エクスポートに成功しました。」と表示されます。

7. CF カードを CF カードライター / リーダーからはずし、PA-DA600 本体に挿入する

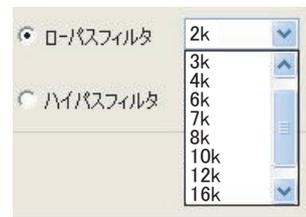
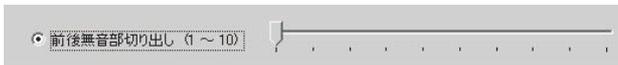
CM ファイルの加工・編集

PA-DA600 本体で録音した JAV ファイルまたは PC で録音した WAV ファイルを加工・編集することができます。



- 前後無音部切り出し、ゲイン補正、ノイズゲート処理、Dレンジ圧縮選択時はスライダーが表示されます

- ローパスフィルタ、ハイパスフィルタ選択時はプルダウンメニューが表示されます



1. [CM ファイル加工・編集] アイコンをクリックします。
CM ファイル加工・編集画面が表示されます。

2. 「入力ファイル」に加工・編集するファイル名を指定します。(WAV ファイルまたは JAV ファイル)

メモ: _____

加工・編集できるのは下記形式のファイルです。

- 16bit/44.1kHzまたは 16bit/22.05kHzの WAV ファイル
- PA-DA600 本体で録音した JAV ファイル (ファイル名:CM00XXX0.jav)

3. 「出力ファイル」に保存するファイル名を指定します。

4. 音声ファイルの加工方法を選択します。

- 44.1kHz → 22.05kHz
サンプリング周波数を 44.1kHz → 22.05kHz に変換します。

- ステレオ→モノラル
ステレオ音声をモノラル音声に変換します。
- LPCM → μ -law
リニア PCM(WAV ファイル) を μ -law 圧縮に変換します。
- 前後無音部切り出し
音声ファイル前後の無音部を切り取り (削除) します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値: 1 (無音部を削除するレベルが最も小さい) ~ 10 (無音部を削除するレベルが最も大きい)]
- ゲイン補正
音声のゲインを補正します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値: -10dB ~ +10dB]

メモ: _____

- ファイルの種類 (WAV ファイルまたは JAV ファイル) は「入力ファイル」と同じになります。変更できません。

メモリーカード作成

- **ノイズゲート処理**
音声の無音部をゼロに置き換えます。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値： 1 (無音にするゲートが最も小さい)
～ 10 (無音にするゲートが最も大きい)]
- **D レンジ圧縮**
音声のダイナミックレンジを圧縮します。選択するとスライダーが表示されるので、数値を選択してください。
[設定値： 1 (圧縮度が最も小さい)
～ 10 (圧縮度が最も大きい)]
- **ローパスフィルタ**
選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。
[設定値： 2k、3k、4k、5k、6k、7k、8k、
10k、12k、16k]
- **ハイパスフィルタ**
選択するとプルダウンメニューが表示されます。フィルタ周波数を選択してください。
[設定値： 50、63、80、100、125、160、
200、250、315、400、500]

5. [実行] をクリックすると加工・編集を実行します。

メモ:

- **5**の後、加工・編集が終了するまでの時間はパソコンの仕様、音声ファイルの長さによって変わります。
(参考)
約 180 秒の音声ファイルで Pentium4、2.4GHz のパソコンでは約 1 秒
 - 本体で録音した音声ファイルを加工・編集する場合は、本体の CF カードを取り外しパソコンに接続して CF カードライター / リーダーに挿入してからおこなってください。(☞ 5 ページ)
本体の CF カードの音声ファイルはルートディレクトリの CM フォルダーに入っています。
-

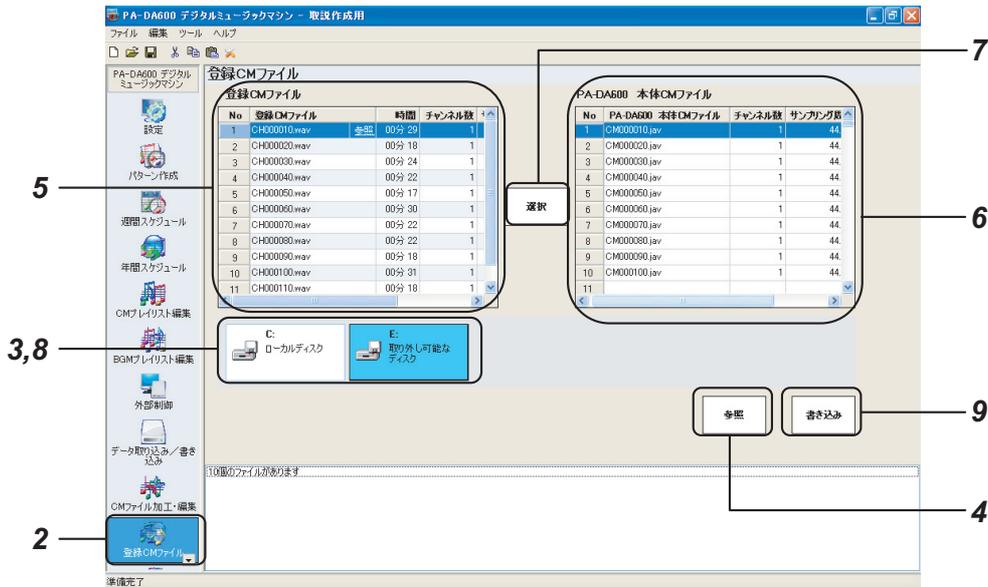
CM ファイルの登録

パソコンで作成した CM ファイルを追加する場合や、PA-DA600 本体で録音した CM ファイルをパソコンで加工・編集した場合など、CM ファイルの登録と CF カードへの書き込みをします。

1. パソコンと CF カードライター／リーダーを接続し、「CM 用メモリーカード」を挿入する

2. [登録 CM ファイル] アイコンをクリックする

登録 CM ファイル画面が表示されます。



3. 1で挿入した CF カードを選択します。

4. CF カード内の CM ファイルのリストを読み込む

「参照」をクリックすると「PA-DA600 本体 CM ファイル」に CF カード内の CM ファイルのリストが表示されます。

(ファイル名は「CM00XXX0.jav」と表示されます)

メモ: _____

- 既に CM ファイルが登録されている CF カードに追加・上書きする場合は 3, 4 をおこなってください。新規の場合は必要ありません。

5. 登録元 CM ファイルを選択する

「登録 CM ファイル」で CM ファイル欄を選択します。「参照」をクリックし、WAV、JAV ファイルを選択します。

メモ: _____

- 登録可能な CM ファイル方式は以下の 6 種類です。

	チャンネル数	サンプリング周波数	フォーマット
ハイスタンダードーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	LPCM
スタンダードーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	LPCM
ハイローンゲーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	μ -law
ローンゲーモノラル	1(モノラル)	22.05kHz	μ -law
スタンダードーステレオ	2(ステレオ)	22.05kHz	LPCM
ローンゲーステレオ	2(ステレオ)	22.05kHz	μ -law

6. 登録先 CM ファイルを選択する

「PA-DA600 本体 CM ファイル」で CM ファイル欄を選択します。

7. CM ファイルを登録する

「選択」をクリックし、登録先に CM ファイルを登録します。(ファイル名は登録元と同じ表示がされます)

8. 5～7を繰り返しすべての登録が終了した後、1で挿入した CF カードを選択します

メモ: _____

- ローカルディスク等に CM ファイルを保存したい場合には、保存したいディスクのルートディレクトリ内に「CM」フォルダーを作成してください。

9. CF カードに書き込む

「書き込み」をクリックし、「PA-DA600 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ: _____

- 「PA-DA600 本体 CM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を *.jav に変更します。
- PA-DA600 本体の LCD 画面には以下のように表示されます。

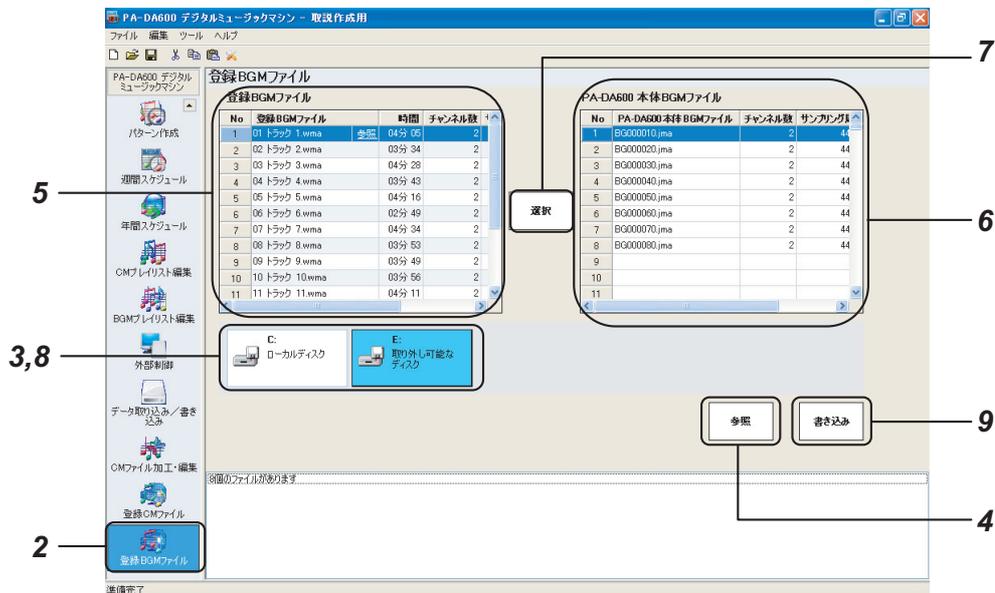
No.	変更後ファイル名	PA-DA600 本体 LCD 表示
1	CM000010.jav	C001
2	CM000020.jav	C002
}	}	}
999	CM009990.jav	C999

BGM ファイルの登録

パソコンで作成した BGM ファイルの新規登録および追加登録と CF カードへの書き込みをします。

1. パソコンと CF カードライター／リーダーを接続し、「BGM 用メモリーカード」を挿入する
2. [登録 BGM ファイル] アイコンをクリックする

登録 BGM ファイル画面が表示されます。



3. 1で挿入した CF カードを選択します。

4. CF カード内の BGM ファイルのリストを読み込む

「参照」をクリックすると「PA-DA600 本体 BGM ファイル」に CF カード内の BGM ファイルのリストが表示されます。

(ファイル名は「BG00XXX0.jma」と表示されます)

メモ:

- 既に BGM ファイルが登録されている CF カードに追加・上書きする場合は 3, 4 をおこなってください。新規の場合は必要ありません。

5. 登録元 BGM ファイルを選択する

「登録 BGM ファイル」で、BGM ファイル欄を選択します。「参照」をクリックし、WMA ファイル、JMA ファイルを選択します。

メモ:

- 登録可能な BGM ファイル方式は以下の 3 種類です。なお、「可変ビットレート」には対応していません。

	チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート
スタンダードステレオ	2 (ステレオ)	44.1kHz	128kbps
ロングステレオ	2 (ステレオ)	44.1kHz	64kbps
ロングモノラル	1 (モノラル)	44.1kHz	32kbps

6. 登録先 BGM ファイルを選択する

「PA-DA600 本体 BGM ファイル」で BGM ファイル欄を選択します。

7. BGM ファイルを登録する

「選択」をクリックし、登録先に BGM ファイルを登録します。(ファイル名は登録元と同じ表示がされます)

8. 5～7を繰り返すすべての登録が終了した後、1で挿入した CF カードを選択します

メモ:

- ローカルディスク等に BGM ファイルを保存したい場合には、保存したいディスクのルートディレクトリ内に「BGM」フォルダーを作成してください。

9. CF カードに書き込む

「書き込み」をクリックし、「PA-DA600 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込みます。

メモ:

- 「PA-DA600 本体 BGM ファイル」の内容を CF カードに書き込むときに、ファイル形式を *.jma に変更します。
- PA-DA600 本体の LCD 画面には以下のように表示されます。

No.	変更後ファイル名	PA-DA600 本体 LCD 表示
1	BG000010.jma	B001
2	BG000020.jma	B002
}	}	}
999	BG009990.jma	B999

オプションの設定

オプションの設定は、ファイルの保存場所や通信ポートの設定を変更したい場合に行います。

1.メニューバーの [ツール] から [オプション] を選択するオプション画面が表示されます。



■ ファイルの保存場所設定

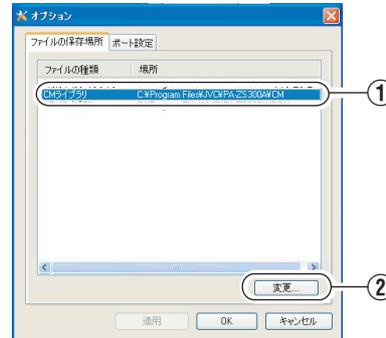
● 作業中のディレクトリ

- ① プロジェクトを保存するフォルダーを変更したい場合、[作業中のディレクトリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



● CM ライブラリ

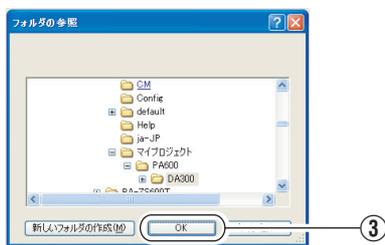
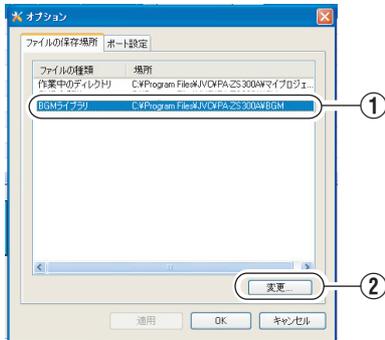
- ① 新規CMファイルの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[CM ライブラリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



その他の設定

● BGM ライブラリ

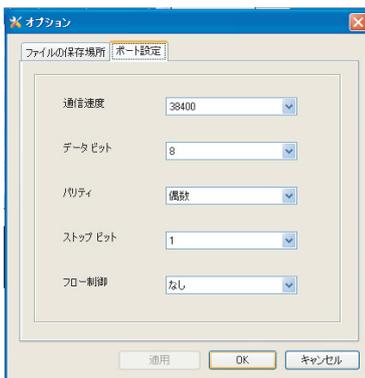
- ① 新規 BGM ファイルの登録作業に使用するフォルダーを変更したい場合、[BGM ライブラリ] を選択します。
- ② [変更] をクリックします。
- ③ フォルダーを選択して [OK] をクリックします。



■ ポート設定

特に変更の必要がない場合、以下の値に設定してください。

通信速度 : 38400
データビット : 8
パリティ : 偶数
ストップビット : 1
フロー制御 : なし



パソコンによる PA-DA600 本体の制御

パソコンから、PA-DA600 本体を制御することができます。

外部制御中は、パソコンからの操作が優先されます。PA-DA600 本体のボタン操作はできません。

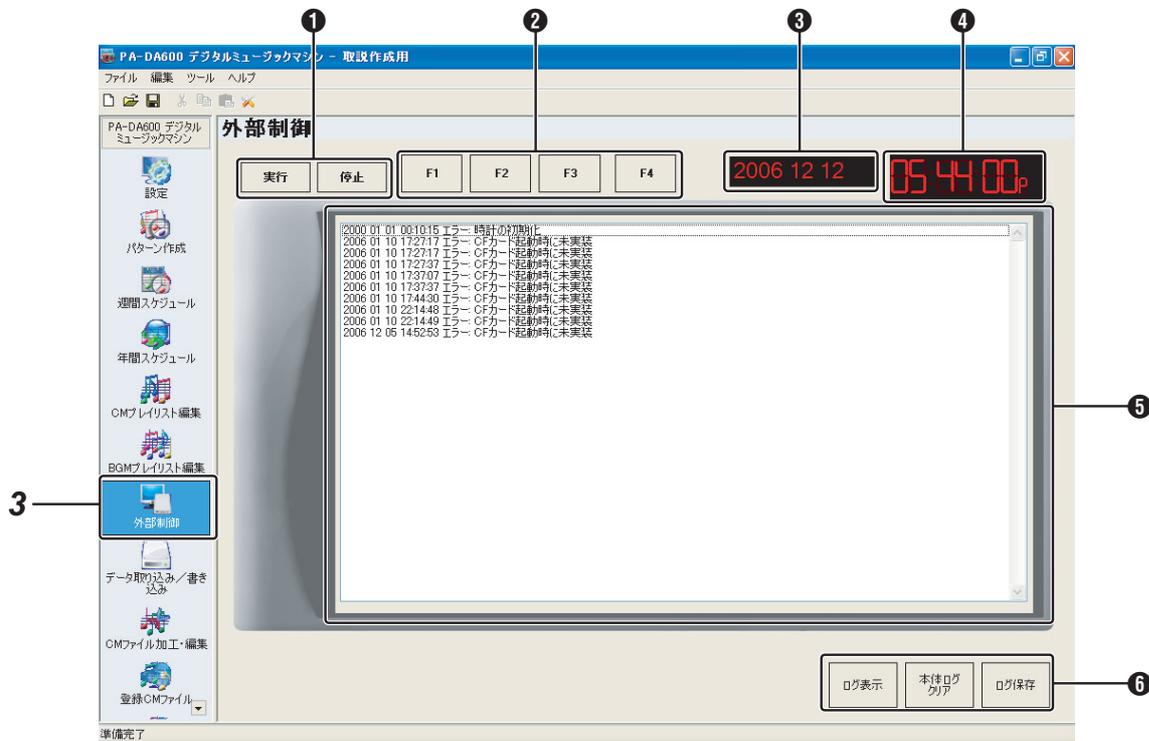
1. パソコンと PA-DA600 本体を USB ケーブルで接続する (☞ 5 ページ)
2. PA-DA600 本体の LCD 画面がメニュー画面でないことを確認する

ご注意:

- PA-DA600 本体の LCD 画面がメニュー画面を表示しているあいだは、パソコンとの通信はできません。

3. [外部制御] アイコンをクリックする

外部制御画面が表示されます。



① [実行 / 停止] ボタン

実行 : PA-DA600 を実行状態にする場合にクリックします。

停止 : PA-DA600 を待機状態にする場合にクリックします。

メモ:

- 停止ボタンをクリックすると、[機能] キー、[制御入力] 端子の動作も待機します。

② [F1 ~ F4] ボタン

クリックすると、それぞれのボタンに割り当てられた動作をします。“機能キー 1 ~ 4” (☞ 13 ページ)

③ 日付表示部

現在の日付が表示されます。

④ 時刻表示部

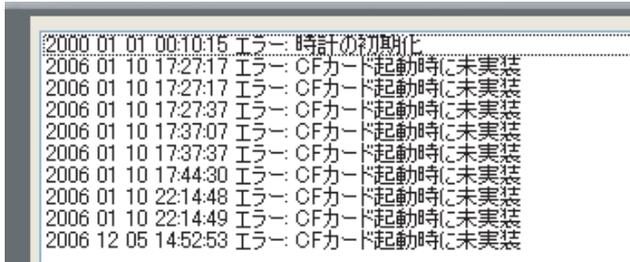
現在時刻が表示されます。

右端の [A] [P] は、それぞれ、AM (午前)/PM (午後) を表します。

パソコンによる PA-DA600 本体の制御（つづき）

⑤ エラーログ表示部

ログ表示ボタン **⑥** をクリックすると、動作エラーの全記録（ログ）が表示されます。



```
2000 01 01 00:10:15 エラー: 時計の初期化
2006 01 10 17:27:17 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 17:27:17 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 17:27:37 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 17:37:07 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 17:37:37 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 17:44:30 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 22:14:48 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 01 10 22:14:49 エラー: CFカード起動時に未実装
2006 12 05 14:52:53 エラー: CFカード起動時に未実装
```

ご注意:

- 表示できるエラーログは最大 100 件で発生したのが古い順に上から表示します。100 件を超えると、一番古いログから消去されます。

⑥ ログ操作ボタン

ログ表示 : 動作のエラーログが、エラーログ表示部 **⑤** に表示されます。

本体ログクリア : すべてのログが消去されます。

ログ保存 : ログをテキストファイルに保存する場合にクリックします。[名前を付けて保存]画面が表示されますので、保存場所を選択し、名前をつけて保存してください。

メモ:

- ログ内容の詳細については、エラーログパターン表と PA-DA600 本体の取扱説明書をご覧ください。
(☞ PA-DA600 取扱説明書 149 ページ「エラーログパターン表」)
- 不明な点は販売店または、サービス窓口にお問い合わせください。

エラーログパターン表

PA-ZS600A ログ表示	PA-DA600 ログ表示		エラー内容	対応
	エラー番号	パラメーター		
SRAM 異常	E001		ハードエラー	①
CPLD 異常	E002			
FPGA 異常	E003			
CF カード途中で抜かれた	E004	CM カード / BGM カード	本機の動作中にメモリーカードを抜いた	② or ④
設定ファイル読み込み時のエラー	E005		設定データの読み込みエラー	③
設定ファイル書き込み時のエラー	E006		設定データの書き込みエラー	③
CF カード起動時に未実装	E033	CM カード / BGM カード	起動時に、メモリーカードが本機に挿入されていない	② or ④
ステップ重複エラー (リレー)	E034		ステップ (リレー) が重複している	⑥
ステップ重複エラー (CM)	E035		ステップ (CM) が重複している	⑥
ハードビート切断	E036	PC0048	PC 通信時エラー	⑤
YMODEM 強制終了発生		PC4192		
JCCP 送信失敗		PC0001		
JCCP 受信タイムアップ		PC0003		
YMODEM 中断 SEQ 異常発生		PC4097		
YMODEM 中断 PC → 本体 ファイル受信失敗		PC4098		
YMODEM 中断 本体 → PC ファイル受信失敗		PC4099		
CM 楽曲なしエラー < 曲番号 >		E037		
CM 楽曲オープンエラー < 曲番号 >	E038	サイセイ < 曲番号 >		
CM 楽曲重複再生エラー < 曲番号 >	E039	サイセイ < 曲番号 >		
< 曲番号 > CM ファイルのアクセスエラーです。	E040	サイセイ < 曲番号 >		
CM 楽曲パラメータ異常 < 曲番号 >	E041	サイセイ < 曲番号 >	BGM ファイル再生エラー	④
BGM 楽曲なしエラー < 曲番号 >	E042	サイセイ < 曲番号 >		
BGM 楽曲オープンエラー < 曲番号 >	E043	サイセイ < 曲番号 >		
BGM 楽曲重複再生エラー < 曲番号 >	E044	サイセイ < 曲番号 >		
< 曲番号 > BGM ファイルのアクセスエラーです。	E045	サイセイ < 曲番号 >		
BGM 楽曲パラメータ異常 < 曲番号 >	E046	サイセイ < 曲番号 >		
BGMWMA デコードエラー	E047	サイセイ < 曲番号 >		
録音エラー < 曲番号 >	E050	ロクオン < 曲番号 >	録音エラー	③
消去エラー < 曲番号 >	E051	ショウキョ < 曲番号 >	消去エラー	③
ステップ重複エラー (BGM)	E052		ステップ (BGM) が重複している	⑥
時計の初期化	E065		時計が初期化されました	⑦

メモ:

- 「対応」に記載されている番号の詳細は下記のとおりです。
- ①: 販売店またはサービス窓口にお問合わせください。
- ②: CM 用メモリーカードを正しく挿入してください。
- ③: CM 用メモリーカードに異常がある可能性があります。正常なデータが保存されているか確認してください。指定のメモリーカードを使用していない場合は、指定のメモリーカードを使用してください。
- ④: BGM 用メモリーカードを正しく挿入してください
- ⑤: 通信用ケーブルの接続、接続した外部機器に異常がないかを確認してください。
- ⑥: パターン (1 日のスケジュール) の設定を確認してください。
- ⑦: 時計を設定してください。
- ② ~ ⑦ の対応を行っても、再度エラーが発生する場合は、販売店またはサービス窓口にお問合わせください。

プレイリストプレイヤーについて

PA-DA600 本体や PA-ZS600A で編集したプレイリストは、アプリケーション「CM プレイリストプレイヤー」「BGM プレイリストプレイヤー」を使用して、パソコンで音声を再生することができます。

プレイリストプレイヤーのインストール

1. ダウンロードしたファイルを任意のフォルダーに解凍する。
2. 解凍してできたフォルダーにある「プレイリストプレイヤー」フォルダーを任意の場所にコピーする。

ご注意:

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの内容はすべてコピーしてください。必要なファイルがすべて含まれています。

プレイリストプレイヤーの使用方法

- 「プレイリストプレイヤー」フォルダーの中には2種類のexeファイルがあります。CM プレイリスト（プレイリスト No.001 ~ 499）を再生する場合は、「CMplaylistplayer.exe」を、BGM プレイリスト（プレイリスト No.501 ~ 999）を再生する場合は、「BGMplaylistplayer.exe」を、それぞれ実行してください。
- 「CM プレイリストプレイヤー」「BGM プレイリストプレイヤー」の詳しい使用方法に関しては「プレイリストプレイヤー」フォルダー内の「CM プレイリストプレイヤー操作説明書.pdf」「BGM プレイリストプレイヤー操作説明書.pdf」をお読みください。

こんなときは

症状	原因と対策																												
パソコンにアプリケーションがインストールできない	パソコンの動作環境を確認してください。																												
アプリケーションが起動できない	パソコンの動作環境を確認してください。 動作環境に問題がない場合は、必要なファイルが削除、もしくは破損している可能性があります。再インストールしてください。																												
通信異常がでる	USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 PA-DA600 本体の LCD がメニュー画面でないことを確認してください。 USB のドライバーがインストールされていることを確認してください。																												
CM ファイルが登録できない	<p>ファイルのフォーマットを確認ください。PA-DA600 で対応可能な WAV ファイル、JAV ファイルのフォーマットは下記の通りです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>サンプリング周波数</th> <th>チャンネル数</th> <th>フォーマット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイスタンダードーモノラル</td> <td>44.1kHz</td> <td>1(モノラル)</td> <td>LPCM</td> </tr> <tr> <td>スタンダードーモノラル</td> <td>22.05kHz</td> <td>1(モノラル)</td> <td>LPCM</td> </tr> <tr> <td>ハイローンゲーモノラル</td> <td>44.1kHz</td> <td>1(モノラル)</td> <td>μ-law</td> </tr> <tr> <td>ローンゲーモノラル</td> <td>22.05kHz</td> <td>1(モノラル)</td> <td>μ-law</td> </tr> <tr> <td>スタンダードーステレオ</td> <td>22.05kHz</td> <td>2(ステレオ)</td> <td>LPCM</td> </tr> <tr> <td>ローンゲーステレオ</td> <td>22.05kHz</td> <td>2(ステレオ)</td> <td>μ-law</td> </tr> </tbody> </table>		サンプリング周波数	チャンネル数	フォーマット	ハイスタンダードーモノラル	44.1kHz	1(モノラル)	LPCM	スタンダードーモノラル	22.05kHz	1(モノラル)	LPCM	ハイローンゲーモノラル	44.1kHz	1(モノラル)	μ -law	ローンゲーモノラル	22.05kHz	1(モノラル)	μ -law	スタンダードーステレオ	22.05kHz	2(ステレオ)	LPCM	ローンゲーステレオ	22.05kHz	2(ステレオ)	μ -law
	サンプリング周波数	チャンネル数	フォーマット																										
ハイスタンダードーモノラル	44.1kHz	1(モノラル)	LPCM																										
スタンダードーモノラル	22.05kHz	1(モノラル)	LPCM																										
ハイローンゲーモノラル	44.1kHz	1(モノラル)	μ -law																										
ローンゲーモノラル	22.05kHz	1(モノラル)	μ -law																										
スタンダードーステレオ	22.05kHz	2(ステレオ)	LPCM																										
ローンゲーステレオ	22.05kHz	2(ステレオ)	μ -law																										
BGM ファイルが登録できない	<p>ファイルのフォーマットを確認ください。PA-DA600 で対応可能な WMA ファイル、JMA ファイルのフォーマットは下記のとおりです。 なお、「可変ビットレート」には対応していません。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>チャンネル数</th> <th>サンプリング周波数</th> <th>ビットレート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スタンダードーステレオ</td> <td>2(ステレオ)</td> <td>44.1kHz</td> <td>128kbps</td> </tr> <tr> <td>ローンゲーステレオ</td> <td>2(ステレオ)</td> <td>44.1kHz</td> <td>64kbps</td> </tr> <tr> <td>ローンゲーモノラル</td> <td>1(モノラル)</td> <td>44.1kHz</td> <td>32kbps</td> </tr> </tbody> </table>		チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート	スタンダードーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	128kbps	ローンゲーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	64kbps	ローンゲーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	32kbps												
	チャンネル数	サンプリング周波数	ビットレート																										
スタンダードーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	128kbps																										
ローンゲーステレオ	2(ステレオ)	44.1kHz	64kbps																										
ローンゲーモノラル	1(モノラル)	44.1kHz	32kbps																										

その他

■ エラー、警告ダイアログ一覧

表示内容	原因と対策	関連項目
新規プロジェクトと作業ファイルが作成できません。	<ol style="list-style-type: none"> ① プロジェクトファイルを新規作成するデバイスに空き容量が足りません、空き容量が十分にあるデバイスに変更してください。 ② プロジェクト名に使用できない名前（文字）を利用しています、使用できる文字でプロジェクト名を入れなおしてください。 	プロジェクトを作成する (☞ 7 ページ)
既に同名のプロジェクトが存在するため、その名前のプロジェクトを作成できません。	別の名前でプロジェクトを作成してください。	プロジェクトを作成する (☞ 7 ページ)
PA-DA600 デバイスが見つかりませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> ① 本体の電源が入っていません、本体の電源を入れてください。 ② USB ケーブル接続がされていません、接続を確認してください。 ③ USB ドライバーがインストールされていません。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 電源を入れる (☞ PA-DA600 取扱説明書 10 ページ) ② システム接続 (☞ 5 ページ) ③ USB ドライバーをインストールしてください。
本体メンテナンス中のため、外部制御を実行できません。	本体がメンテナンスモード（メニュー画面の表示中）になっています。待機状態または実行状態にしてください。	メニュー画面の構成 (☞ PA-DA600 取扱説明書 36 ページ)
失敗：デバイスとの通信に失敗しました。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は書き込みできません。待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (☞ PA-DA600 取扱説明書 36 ページ)
失敗：アップロードが許可されません。	本体実行中、メンテナンスモード中（メニュー画面の表示中）は取り込みできません。待機状態にしてください。	メニュー画面の構成 (☞ PA-DA600 取扱説明書 36 ページ)
加工・編集できないフォーマットです。ファイルフォーマットを確認して下さい。	PA-DA600 で扱えないデータフォーマットです。	CM ファイルの加工・編集 (☞ 25 ページ)
選択したドライブを参照できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> ① ディスクがありません、ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② CM フォルダもしくは BGM フォルダのないドライブを接続しています。ディスクまたは CF カードを確認してください。 	CM ファイル登録 (☞ 27 ページ) BGM ファイル登録 (☞ 28 ページ)
選択したドライブにエクスポートできませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> ① ディスクがありません。ディスクまたは CF カードを確認してください。 ② ディスクが書き込み禁止状態になっています。ディスクを確認してください。 ③ CM フォルダ、もしくは BGM フォルダのないドライブへ書き込みを行おうとしています。ディスクまたは CF カードを確認してください。 	CM ファイル登録 (☞ 27 ページ) BGM ファイル登録 (☞ 28 ページ)
{ファイル名} ファイルの情報が読み込めません	登録したファイルが PA-DA600 で扱えないデータフォーマットです。	CM ファイル登録 (☞ 27 ページ) BGM ファイル登録 (☞ 28 ページ)
ステップが重複しています。保存を続行しますか？	<ol style="list-style-type: none"> ① 設定したパターン内で同一リレーの動作時間が重複しています。同一リレーの動作時間が重複しないように設定してください。 ② 設定したパターン内で CM 再生時間が重複しています。CM 再生時間が重複しないように設定してください。 ③ 設定したパターン内で BGM 再生時間が重複しています。BGM 再生時間が重複しないように設定してください。 ④ 前後の曜日のパターン間の重なり合う時間帯で上記の①～③のいずれかの重複が発生しています。設定の重複が起らないようにそれぞれのパターンを設定してください。 	<ol style="list-style-type: none"> ①～③：パターン設定 (☞ 15 ページ) ④：週間スケジュール設定 (☞ 17 ページ) 年間スケジュール設定 (☞ 18 ページ)

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12